

事業報告

経費の節減、収益の確保に努めつつ、自己負担金4億2,000万円のほか、(公財)日本海事センターからの補助金5,000万円、日本内航海運組合総連合会等からの補助金1,500万円など海事関係団体のご支援をいただきながら、海技教育支援及び当該学生等に対する学資金の貸与等、海技教育の普及を図るための事業を実施した。

I. 海技教育支援事業

1. 海技教育機関認知広報・学生等募集支援事業

(1) 広報活動の充実強化事業

(独)海技教育機構の各学校における学生募集に係る「学校案内」、「体験入学」、「学校訪問」等、及び近年の若年人口の減少に伴う募集活動の少子化対策等に鑑み、各学校の定員確保等のための広報活動を強化する必要があるとあり、そのために各学校の広報担当者8名に研修を実施した。

(2) 「13歳のハローワーク公式サイト」等の活用事業

webサイト「13歳のハローワーク公式サイト」の特集記事の中に「海運の仕事」のコーナーを設け、(独)海技教育機構の海上技術学校及び海上技術短期大学校各校のホームページとの相互連携を図るとともに、「スタディサプリ進路」にも海上技術短期大学校3校の紹介ページを設ける等、各学校への情報収集や資料請求の増加を図った。

(3) DVD版「商船系高等専門学校紹介」作製事業

外航海運支援事業の一環として、商船系高等専門学校の紹介DVDを作製し、中学校訪問やオープンキャンパス等の募集活動に活用することにより、優秀な人材の確保に寄与するとともに、応募者数、受験者数の拡大を図ることとする。

平成30年度に原版を複製し、各高等専門学校及び各種団体等に配布するとともに、中学校訪問やオープンキャンパス等の募集活動に活用する。

(4) 全般的広報宣伝事業

① 海技教育機関の広報・宣伝事業

(独)海技教育機構の学生募集に直接効果のある各校で作成する学校案内・オープンキャンパス案内、ポスターの作成・送付に対する支援を行うとともに、教員が行う学校訪問や学校OB等の協力を得て行う遠隔地の中学校、高等学校訪問に対する支援を行った。また、各校が実施する体験入学や学校見学会、地方紙・一般紙等の地方版及び受験案内雑誌への広告掲載を行い、各校の生徒・学生募集に対する支援を行った。

② 講師(内航代表者)派遣事業

内航代表講師2名を、国立館山海上技術学校、国立波方海上技術短期大学校に派遣し、「内航海運の現状等について」という演題で講演を実施した。

受講した学生たちの多くは、船員の心構えとして、礼儀や挨拶・コミュニケーションの大切さを知るとともに、内航船に対するイメージが明確になり、将来船舶職員となる自覚と学習意欲の向上につながる有意義な事業となった。

2. 海技教育内容の改善及び環境整備事業

内航船員教育関係者連絡会議開催

今年度は、平成30年2月に開催し、船員教育及び海運業界の現状並びに「船員に対する安全教育と育成への取り組みについて」というタイトルで後藤大祐氏（日鉄住金物流（株）執行役員内航海運本部長）の基調講演があり、業界と海技教育機関との連携の強化に資するため情報交換、意見交換を行った。

3. 海技教育機関支援事業

就職促進支援事業

毎年、国土交通省地方運輸局等が主催する「めざせ！海技者セミナー」に(独)海技教育機構の学生・生徒が参加し、会場までの貸切バス等交通の便を確保するための支援を行った。即ち、東北運輸局主催に42名、関東運輸局主催に276名、中部運輸局主催に106名、神戸運輸監理部主催に114名、四国運輸局主催に95名、九州運輸局主催に78名等、合計延べ711名が参加した。

実際に会社の方から説明を聞いたことで、今後の就職活動や内航船社や内航船の実態を知るための良い機会を提供することができた。

4. 学生等災害援助事業

該当する災害がなかった。

II. 奨学金等貸与等事業

1. 奨学金等貸与等事業

(1) 奨学金貸与事業

- ① 平成29年度の新規採用奨学生は121名で、奨学生定員216名（内航奨学生30名）に対する採用率は56.0%であった。（表1）
- ② 新規採用奨学生を含めた在学生への奨学金の貸与は392名（うち内航奨学生74名）に対し、1億3,693万円の奨学金を貸与した。（表2）
- ③ 平成29年度3月末における貸与奨学生（一般奨学生、特別奨学生）は、1,392名で、貸与奨学金の総額は、10億9,032万円であった。（表3）

(2) 奨学金返還事業

- ① 当該期間の貸与中奨学金の返還者は1,236名で、総額1億7,697万円の返還があった。（表4）
- ② 返還促進対策の実施
奨学金の期限切れの長期滞納者に対する返還促進を図るため、電話・ハガキによる不足額請求のほか、内容証明や戸別訪問による支払請求、簡易裁判所に

対する支払督促申立等を実施し、一定の成果を得た。

- ③ 期限内の長期滞納者についても同様の支払督促、個別訪問等による支払請求を行って一定の成果を得た。

(3) 入学準備金貸与事業

海技教育機関への入学生で、入学準備金が必要と認められる学生・生徒24名に対し、入学準備金490万円を貸与した。(表5)

(4) 奨学制度維持事業

奨学金の貸与事業を円滑に進めるため、電算システムを更改するとともに、その維持・運用を図った。

2. 成績優秀者の表彰事業

(1) 人物・学業優秀者の表彰

平成29年度の海技教育機関卒業生のうち、各学校長から推薦のあった人物、学業の優秀な学生・生徒32名に対し、表彰状及び記念品を授与した。

(2) 練習船実習優秀者の表彰

(独) 海技教育機関の練習船で実習訓練を受けた海技教育機関の学生・生徒のうち、実習成績が優秀な者15名に対し、表彰状及び記念品を授与した。

III. 海洋研修等海事思想普及事業

1. 海洋研修事業

(1) 体験航海及び海洋教室実施事業

帆船「海王丸」を活用し、船や船員、海技教育への関心を高めるための青少年(小学4年生以上の生徒)向け海洋教室2回(鹿児島港、広島港)のほか、児童養護施設の児童を招待した海洋教室1回(神戸港)を行った。

また、一般成人向けに国内体験航海(神戸港～宮古港、宮古港～御前崎港、御前崎港～衣浦港、細島港～鹿児島港、別府港～広島港)及び遠洋体験航海(東京港～リッチモンド港)を行った。

今年度の国内体験航海は8回予定していたが、海技教育機関の実習生の乗船者数の関係で5回に留まった。

○海洋教室	3回	69(27)名
○体験航海	国内5回	40(1)名
○体験航海	遠洋1回	8(0)名
		()内は、女子で内数

(2) 研修生等災害補償事業

該当する災害がなかった。

2. 海技教育普及宣伝事業

練習船見学会等支援事業

一般公開及び見学会

(独)海技教育機構の練習船が主催する一般公開及び見学会において、海技教育機構の周知・宣伝、入学者の安定的な確保を図るためのパンフレット等を作成し、配布した。また、参加者に対する施設入場者傷害保険及び施設賠償責任保険を付保した。

IV. 練習船航海訓練支援事業

保有している帆船「海王丸」の管理を行うとともに、(独)海技教育機構に練習船として貸与し、船舶職員養成のための航海訓練の実施を支援した。

V. 物品販売事業

1. 海王丸グッズ、清涼飲料水販売事業

練習船寄港地等15か所において、海王丸グッズ等の販売を精力的に行うとともに(独)海技教育機構波方海上技術短期大学校構内において清涼飲料水の販売事業も実施した。

2. 売店等の運営による物品販売事業

(独)海技教育機構海技大学校構内の売店等において物品販売事業を実施した。

VI. その他

厳しい経済環境の中、当財団の海技教育事業等を支援するため、平成29年度に事業者2社の賛助会員にご加入戴いた。

表1. 平成29年度奨学生の採用状況

(1) 一般奨学生

学校群		奨学生定員	1 学 年	2 学年以上	合 計	採 用 率
商船系大学		32 名	4 名	3 名	7 名	21.9 %
海技教育機構	海技大学校	10	6	0	6	60.0
	海上技術学校	44 (8)	41 (8)	1	42 (8)	95.5
	海上技術短期大学校	85 (22)	35 (22)	0	35 (22)	41.2
	計	139 (30)	82 (30)	1	83 (30)	59.7
商船高等専門学校	商船学科	40	16	10	26	65.0
	専攻科	5	5	0	5	100.0
	計	45	21	10	31	68.9
合計		216 (30)	107 (30)	14	121 (30)	56.0

(注) () 内は内航奨学生の内数

(2) 特別奨学生 (三号:特別奨学金による奨学生)

学校群	特奨三号奨学金による者
東京海洋大学	1 名
海上技術学校	4
計	5

(注)

商船系大学 東京海洋大学海洋工学部・神戸大学海事科学部
 海上技術学校 小樽・館山・唐津・口之津海上技術学校
 海上技術短期大学校 宮古・清水・波方海上技術短期大学校
 商船高等専門学校 富山高等専門学校・鳥羽・弓削・広島・大島商船高等専門学校

表2. 平成29年度中奨学金貸与状況
一般奨学生及び特別奨学生(二号)

学 校 群			合 計		
			一 般	特 奨 (二号)	計
商 船 系 大 学		人 員	25 名	名	25 名
		金 額	11,450,000 円	円	11,450,000 円
海 技 教 育 機 構	海 技 大 学 校	人 員	16		16
		金 額	8,995,000		8,995,000
	海 上 技 術 学 校	人 員	152 (31)		152 (31)
		金 額	46,799,000 (10,539,000)		46,799,000 (10,539,000)
	海 上 技 術 短 期 大 学 校	人 員	74 (43)		74 (43)
		金 額	27,150,000 (15,615,000)		27,150,000 (15,615,000)
	計	人 員	242 (74)		242 (74)
		金 額	82,944,000 (26,154,000)		82,944,000 (26,154,000)
商 船 高 等 専 門 学 校	商 船 学 科	人 員	113		113
		金 額	38,038,000		38,038,000
	専 攻 科	人 員	12		12
		金 額	4,500,000		4,500,000
	計	人 員	125		125
		金 額	42,538,000		42,538,000
合 計		人 員	392 (74)		392 (74)
		金 額	136,932,000 (26,154,000)		136,932,000 (26,154,000)

(注) ① ()内は内航船員育成奨学生へ貸与した人数、金額である。(内数)

②特別奨学生(二号)とは、殉職船員の子弟

表3. 平成29年度末奨学金の貸与状況

(1) 一般奨学生及び特別奨学生(一号)

学校群		貸与中員数			貸与中金額			
		一般	特一	計	一般	特一	計	
商船系大学	在学中	18名	0名	18名	26,100,000円	0円	26,100,000円	
	返還中	120	0	120	146,876,780	0	146,876,780	
海技教育機構	海技大学校	在学中	15	0	15	11,550,000	0	11,550,000
		返還中	64	1	65	57,503,098	98,800	57,601,898
	海上技術学校	在学中	118	0	118	82,759,000	0	82,759,000
		返還中	257	15	272	175,248,615	4,392,356	179,640,971
	海上技術短大	在学中	72	0	72	41,880,000	0	41,880,000
		返還中	275	0	275	105,048,921	0	105,048,921
商船高等専門学校	在学中	89	0	89	83,706,000	0	83,706,000	
	返還中	348	0	348	358,565,766	0	358,565,766	
合計	在学中	312	0	312	245,995,000	0	245,995,000	
	返還中	1,064	16	1,080	843,243,180	4,491,156	847,734,336	
総合計		1,376	16	1,392	1,089,238,180	4,491,156	1,093,729,336	

(注) 特別奨学生(一号)とは、学費の支弁が困難なため、加算された奨学金を貸与された者

(2) 特別奨学生(二号)

学校群		員数	金額
商船系大学	在学中	0名	0円
	返還中	0	0
海上技術学校	在学中	0	0
	返還中	0	0
商船高等専門学校	在学中	0	0
	返還中	0	0
合計	在学中	0	0
	返還中	0	0
総合計		0	0

(注) 殉職船員の子弟で、特別奨学生期間中の貸与額の半額返還免除を受けた者

(3) 特別奨学生(三号)

学校群	員数	貸与額
東京海洋大学	1名	100,000円
海上技術学校	4	100,000
総合計	5	200,000

(注) 特別奨学生(三号)とは、全額返還免除の奨学金を受けた者

表4. 平成29年度奨学金の返還状況

項 目	商船系大学	海 技 教 育 機 構			商 船 高 専	計
		海技大学校	海上技術学校	海上技術短大		
実 返 還	135 30,640,000	73 10,732,000	314 30,515,315	325 42,225,000	389 62,867,354	1,236 名 176,979,669 円
免 除	一般免除	0 0	1 935,000	0 0	0 0	1 名 935,000 円
	特二免除	0 0	0 0	0 0	0 0	0 名 0 円
	免 除 計	0 0	0 0	0 0	0 0	0 名 0 円
消 滅	時 効	0 0	0 0	0 0	0 0	0 名 0 円
	破 産	0 0	0 0	0 0	0 0	0 名 0 円
	消 滅 計	0 0	0 0	0 0	0 0	0 名 0 円

(注) ① 各欄上段の数値は員数、下段の数値は金額を示す。

② 今年度中の完済者数は、156名である。

表5. 平成29年度入学準備金の貸与状況

商船系大学	海 技 教 育 機 構			商船高専	計
	海技大学校	海上技術学校	海上技術短大		
2	4	4	4	10	24 名
600,000	800,000	700,000	800,000	2,000,000	4,900,000 円